





### 6. ルート案内

#### ● 歩きは始める前に

- ・ 起点：いちよう通り西交差点北西角、
- ・ 終点：黄金町かいだん広場、
- ・ 休憩：掃部山公園、野毛山公園を推奨
- ・ 距離約 4km 強、歩行約 1 時間 40 分、ただし観察・休憩時間を含みません
- ・ 区間名の後の ( ) 内は、およその所要時間です
- ・ ルートの左右にずれた番号は、観察物が左あるいは右側にあることを示します
- ・ 観察点番号の前の記号は、次を意味します
  - ★ 案内あり、● パブリックアート、■ 歴史・史跡
- ・ 観察点の太字表記は必須、細字表記は任意です
- ・ 次の次の観察点まで確認して進んで下さい

#### A. 掃部(かもん)山公園入口へ(16分)

1. 起点：いちよう通り西交差点北西角
- ★ 2. 案内板「西区の埋立の変遷」
3. JR 貨物踏切
- ★ 4. 案内板「横浜船渠会社正門」  
かつて多くの労働者がここから入退場した
- 5. 新横浜道路(桜川新道)  
横断歩道橋で渡る。かつてこの道路は桜川、帷子川水系と大岡川水系を結んでいた
- 6. 旧海岸線  
緩い上り付近。これ以降は埋立地でない
- 7. 岩亀稲荷  
この辺りは岩亀横丁、岩亀楼の遊女たちが静養する寮があって、そこに鎮座していたお稲荷さん。信仰は今に続く
- 8. プラフ積み擁壁  
横浜山手に多く見られる擁壁の積み方で、基本は長短長短の規則性

#### B. 横浜能楽堂前へ(9分)

- ★ 9. 案内板「掃部山の歴史」
- 10. 井伊掃部頭(かもんのかみ)像  
周囲に案内板等あり。初代の像は1909(明治42)年に建立されたが、太平洋戦争中に金属供出された。現在の像は2代目だが台座は当初のもの
- 11. 水泉(水は出ていない)

#### C. 伊勢山皇大神宮へ(14分)

- 周辺に公共施設が多いのは、幕府直轄地から国有地に転じた名残だろう
12. 横浜能楽堂  
公演がなければ見学可。玄関前の看板を注意
  13. 神奈川県立音楽堂
  14. 神奈川県立図書館
  15. 神奈川県立青少年センター
  - 16. 彫刻「作者未詳：友情像」
  - 17. 彫刻「作者未詳：希望像」
  - 18. 彫刻「流政之作：潮像」
  - 19. 「国際児童年記念タイムカプセル」
  - 20. 金星太陽面経過観測記念碑
  - 21. 神奈川奉行所跡碑
  - 22. 日本ガス事業発祥地跡  
崖下の本町小学校校庭から遺構が発掘された。学校正門にモニメントのガス灯がある

#### D. 成田山横浜別院へ(8分)

- 横浜総鎮守。近くの大神宮を明治3年に野毛山に遷して伊勢山皇大神宮。これより所在地を伊勢山と言う
- 23. 几(き)号水準点  
明治初期の高低測量の基準点。漢字の「不」に似た記号、が見つかるか？
  - 24. 横浜伊勢山碑(23番の隣)
  - 25. 蔭公頌徳碑(24番の隣)
  - 26. 万葉歌碑  
日本文学者・犬養孝を顕彰する
  - 27. 伊勢山皇大神宮本殿

#### E. 横浜中央図書館へ(11分)

- 28. 成田山横浜別院  
1870(明治3)年に成田山新勝寺より分霊、現南区西中町の普門院境内に遷拝所設立。1876(明治9)年高島嘉右衛門より敷地施入を得て現在地に、名を成田山教会。明治26年延命院と号す。通称野毛不動
- 29. 旧海岸地形(本堂正面フェンス際から)  
かつては足下、左右の崖下を波が洗っていた
30. 横浜市民ギャラリー
- ★ 31. 野毛の切通しおよび標柱
32. 野毛山住宅亀甲積擁壁

#### F. 野毛山公園：散策地区へ(3分)

- ルート外だが、館内にも彫刻「佐藤忠良 冬の像」他の作品がある
- 33. 柳原義達作：道標鳩像(複数あり)
  - 34. 望月菊麿作：知恵の箱

#### G. 野毛山動物園入口へ(15分)

- ★ 35. 案内板「野毛山公園」  
公園のおよその歴史を理解できる
36. 車寄せ跡？  
丁寧に仕上げられた緩やかに円弧を描く道筋
- 37. 神奈川県立十全病院跡(現老松中学校)  
十全病院は1874(明治7)-1923(大正12)年まで野毛山の地にあった
38. 中村汀女句碑
- 39. ラジオ塔
- 40. 佐久間象山碑  
横浜開港の恩人の一人

#### H. 野毛山公園：展望地区入口へ(3分)

41. 野毛山動物園(入園任意)
42. 野毛のつり橋  
美しい横断歩道橋、動物園側を上ると案内がある。橋上から横浜市営水道旧配水池を観察

#### I. ラジオ関東発祥地へ(11分)

- 43. 横浜市営水道旧配水池  
新配水池は前方の広場地下に
- 44. H.S. パーマー像  
近代水道生みの親、視線の先は道志溪谷？
- 45. 案内板「シドモア桜」  
H.S. パーマー像の10mほど先に
46. 1964年東京五輪会場碑
47. 展望台  
雄大な景色が広がる。ここから眺める平地は埋立地と言って過言でない。次に行く48番の位置を確認しておく

#### J. 黄金町かいだん広場へ(10分)

48. ラジオ関東発祥地  
現アール・エフ・ラジオ日本、屋上に鉄塔のある建屋
- ★ 49. 校庭地下の構造物  
門前に簡易な案内がある
50. 擁壁を塞いだ痕跡  
アーチの奥に水道計量器があったとか
51. 終点：黄金町かいだん広場  
京浜急行ガード下、進行方向右手

